

児童発達支援事業所・放課後デイサービスにおける  
自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月

事業所名 学校法人郡山私幼協学園 みらいサポート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・限られた空間の中ではありますが、お子様1人1人が楽しめるような工夫を考えています。同じ空間に密集しないようにスケジュール設定をしています。
	2	職員の配置数は適切である	6	1	・今後、利用する子どもの数が増えることを考えると職員を補充しなくてはいけない。状況によって不足していると感じる時があるが、幼稚園と連携し、補っている。	・職員の休暇等により、支援の質に影響が出ないよう、職員の人数を増員する検討も行っていきます。職員の働きやすさにも繋げていきたいと思います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			・構造化はお子様の状態に合わせて行っていきます。お子様の成長に合わせて必要に応じて改善していきたく思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			・午前・午後の受け入れ後、それぞれで環境や玩具消毒を行っています。 ・常設ではありませんが、お子様に合わせて、遊具やトランポリンを用意し、身体を動かせる時間等も作っています
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			・お子様が帰られた後、昼や夕方時間に情報交換を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・保護者の方のご協力のもと、実施させていただきました。ご協力、ありがとうございます。保護者等向け評価表につきましては、R5.2月に配布し、いただいた評価、ご意見をまとめさせていただきました。 ・事業所向け自己評価表につきましては、R5.2月に配布し、評価をまとめました。 ・今後、検討して決まったことを少しずつ実践して参りたいと思います。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	開所間もないため未実施。今後公開予定。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		・現在は行っていませんが、今後必要に応じて検討していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・外部講師を招き事業所勉強会を実施しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			・利用開始時や毎年4月にニーズシートを記入していただいたり、懇談時にニーズをお聞きしたりして児童発達支援計画書を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			・複数の評価ツールを組み合わせ、お子様の姿を捉えられるようにしています。保護者の方々にも成長を実感していただきやすいように配慮しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			・保護者の方がご家庭等で取り組める課題を提案しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			・連絡帳にもねらいを記載したり、支援計画書を連絡帳に挟んだりして、ねらいを押さえながら支援が提供できるようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・職員が全員揃って立案することはできていませんが、担当が立案し、それぞれの職員に活動の話を行うようにしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			・同じ活動が続いてお子様が飽きないように配慮しています。また、お子様の楽しみや好きな物を取り入れるようにも工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			・課題やお子様の状態によって、どの場面で取り組むべきかを意識しながら児童発達支援計画を作成し、その中にも記しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・前日、または書面から役割分担などが確認できるようにしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・十分に振り返りができなかった時は、個別記録、連絡帳を読み返し、把握するようにしている。	・お子様が帰られた後、振り返りを実施しています。その日のねらいに対しての様子や情緒の様子、成長した点などを話し合い、共有しています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・個人的にもその日担当した子の記録をとって、振り返りができるようにしている。	・気になった点などは、振り返りの時に話し合い、個別ファイルに記載し、対応を考え、次の改善に繋げられるように心がけています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			・約6ヶ月に1回、計画の見直しを行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・保育士や児発管、管理者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			・必要に応じて、連携をとらせていただいています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・現在は対象者の方がいらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・現在は対象者の方がいらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・幼稚園に戻った際、登所時や支援中に変わったことがあれば、担任の先生に知らせ、支援後のクラス内での過ごし方や関わり方に役立てられるようにしている。	・会議実施や幼稚園での様子を担任と情報共有し総合理解を図っています。 ・保護者の方のご意向や必要性に応じて実施させていただいています
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		・保護者の方のご意向や必要に応じて実施させていただいています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			・定期連絡会へ参加させていただきました。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		・並行通園されているお子様がほとんどです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7			・郡山市子ども支援部会に参加させていただきました。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・送迎の際や連絡帳にて、みらいサポートでの様子や家庭での様子等の情報交換をさせていただいています。今後も細やかな情報交換ができるよう、努力していきたいと思っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4		・現在、プログラムはありませんが、令和5年度は数名の職員が研修に参加し、ペアレントプログラムの実施を計画していきます。